

# 岩手県福祉サービス第三者評価の結果

## 1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第 2 号
所在地	盛岡市三本柳 8-1-3	評価実施期間	平成 23 年 12 月 27 日 ～平成 24 年 3 月 8 日

## 2 事業者情報

事業者名称（施設名）： 奥中山学園	種別：障がい児童入所施設
代表者氏名：理事長 及川 忠人 管 理 者：園長 佐藤 真名	開設年月日 昭和 48 年 4 月 1 日
設置主体：社会福祉法人 カナンの園 経営主体：社会福祉法人 カナンの園	定員（利用人員） 40 名
法人所在地：二戸郡一戸町中山字大塚 4-7	TEL：0195-36-1026 FAX：0195-36-1027
事業所：二戸郡一戸町中山字大塚 4-6	TEL：0195-35-2314 FAX：0195-35-3406

## 3 総評

### ◇ 特に評価の高い点

#### ○地域との積極的な交流に対する取り組み

地域の理解と協力により、昭和 48 年に奥中山学園が開設されて以来、「連帯の輪を広げる」という法人の理念のもとに地域住民とともに歩む姿勢が設立・開設当初から実践・事業展開をされている。

特に利用者である子ども達は、通学や買い物など日常生活の中で地域住民と挨拶や会話などのコミュニケーションが交わされている。また、地域の花見会や球技大会及び運動会などの行事に招待を受けた時は、職員と共に積極的に参加し楽しく交流がされている。さらに、施設等のお祭りやクリスマス会などの行事の際には、利用者が招待状を持って地域の各家庭を回って配布をしながらの会話など、利用者も地域の一員として気軽な交流が行われていることは、高く評価できる。

### ◇ 改善が求められる点

#### ○基本姿勢に基づいた職員個別計画の策定について

内部研修や外部研修への職員の派遣及び他の機関との共催による研修、資格取得の支援など職員養成に取り組まれている。しかし、施設が目標とするサービスの提供やサービスの質を高めるために必要な職員を養成するには、職員に高めて欲しい知識や技術、取得してほしい専門資格など職員に求める基本姿勢を明確にすることが必要である。そのうえで、職員個別ごとの知識や技術水準の状況及び専門資格の必要性等を勘案し、本人と協議しながら職員個別ごとに教育、研修計画を策定し、それに基づく教育・研修の実施が望まれる。

## 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第 3 者評価の受審の過程において、まず職員間で一つひとつの項目において話し合いを行いました。その中で、私達は、実践を言葉にすること、文章化することがもっと必要であること。第 3 者評価で与えられた

項目をきっかけに、普段の実践について職員間での共通の理解が成されていくことを実感していました。

文章化、マニュアル化されていない物も多くあり、それぞれが担っている役割をより整理し、文章化、マニュアル化していく必要性を感じました。また、高く評価いただいた点に関しては、今後も「連帯の輪を広げる」という理念の下、分け隔てなく人と人が繋がりを大切にしなが実践していきたいと思ひます。受審後には、振り返りの時を持ち、改善が求められる点について、今年度以下の取り組みを始めています。

- ・職員個別の知識や技術の向上、働く事への目標等を個別に聞き取り、個別の研修、資格取得等の支援を行っていく。
- ・PDCA のサイクルを短期間で繰り返しながら、運営、支援計画、サービスの質などを検討していく。主に朝の報告、職員会議、寮長会議、運営委員会のそれぞれに役割を位置づけ、課題抽出、立案、評価を繰り返していく。
- ・寮長会議、職員会議を中心としながら、記録の書き方、健康面での配慮点、報告の仕方等整理し、意味合いを含め協議することで、マニュアル化していく。
- ・中・長期的なビジョンに関して、制度、社会動向等に常に目を向け、子育て・子育てに関わる支援全般に目を向け、将来像を検討、共有を行うとともに、人材確保、育成の面において見通した人事を検討する機会を持っている。3 年後を見据えた、具体的な体制と、将来まで指針となるような「大切にすること」を協議、確認する作業を始めている。

## 5 各評価項目にかかる第三者評価結果 (別紙)